

医療機能評価機構 Ver.6 に認定されました



日本医療機能評価機構とは医療機関の機能を学術的観点から中立的な立場で評価すべく、医療の質を保証し、医療提供状況に関する正しい情報を提供して、良質な医療を推進することを目的として、厚生労働省、日本医師会、日本病院会などが出資して設立された第三者機関です。

加古川病院は 2005年12月に Ver.4 を既に認定されていますが、それ以降も、施設の改装・整備、機器の新設・更新、IT化を図り、医療システムの運用改善を行ってきました。また、全職員に再教育を行い、「人類愛の精神に基づき、悩める病人のための病院たらん」の基本理念に基づき、病院の基本方針を実現すべく努力してきました。その結果、この度、病院の現状を客観的に把握する 458 項目の評価項目すべてが認定基準に達成しているとして、機能評価機構から Ver.6 更新認定証が交付されました。これを機に、職員一同、更に患者さんに信頼される病院を目指し、患者さんに優しさと安心と満足を提供できるよう努めたいと思います。

2010年11月



財団法人 甲南病院 加古川病院